

## 審議会等の会議の記録

会議の名称	令和7年度第2回伊勢崎市いせさきGX推進市民協議会
開催日時	令和7年12月19日(金) 10:00~11:20
開催場所	清掃リサイクルセンター21 管理棟3階 大会議室
出席者氏名	(委員) 松島会長、神部副会長、都丸委員、齋藤委員、高橋委員 (伊勢崎市) 小此木GX推進課長、桑名課長補佐、 谷川主査、久保主査
傍聴人数	4人
会議の議題	<p><b>報告事項</b></p> <p>(1) 親子環境教室の実施報告</p> <p>(2) 花と緑と環境フェアの実施報告</p> <p>(3) 伊勢崎市地球温暖化対策実行計画等の改正等の状況について</p> <p><b>協議事項</b></p> <p>(4) いせさきGX市民講座の開設及び市民サポーター制度の創設について</p> <p>(5) いせさきGX推進市民協議会公募委員の改選について</p> <p>(6) 令和8年度の展望について</p> <p><b>その他</b></p>
会議資料の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・名簿</li> <li>・スライド資料</li> </ul>
会議における議事の経過及び発言の要旨	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 議事</b></p> <p><b>報告事項</b></p> <p>(1) 親子環境教室の実施報告</p> <p><b>事務局から説明</b></p> <p>会 長：今の説明について、ご意見等ありますか。</p> <p>委 員：体験を通じた学びがあり、アンケートで振り返りもできている。これからも続けてほしいです。</p> <p>委 員：皆さんとても熱心に勉強されていた。バイオームの使い方については、学校に出向いて使い方を教えてくれる人がいればいいのではないか、という参加者</p>

の声もありました。この取り組みを発展させて、学校でも実施してほしいと思いました。

会 長：バイオームについて、どのくらい使い方を熟知しているか、どのくらい的人数がインストールをしていて、どのくらい活用しているか、来年度に向けて検証が必要ではないでしょうか。

事務局：所管課が取りまとめているところですので、結果がまとまり次第、共有したいと思います。

委 員：子供達が昆虫を探しやすい時期としては、夏休み以外の時期を検討してもよいのではないのでしょうか。例えば、春や秋の環境フェスティバルの1コーナーとして、イベントを設けるなどすれば、暑さを避けることができるのではないかと思います。

会 長：開催時期については検討が必要なのではないでしょうか。

事務局：秋の開催については、担当課（環境政策課）としても前向きに検討できると思います。

委 員：バイオームを使って虫を見つけるだけでなく、生態系への影響など、参加者にフィードバックを与えられたらよかったと思いました。

## (2) 花と緑と環境フェアの実施報告

### 事務局から説明

意見なし

## (3) 伊勢崎市地球温暖化対策実行計画等の改正等の状況について

### 事務局から説明

会 長：協議会の委員の皆様におかれましては、パブリックコメントで、計画に関する意見を是非出してください。また、パブリックコメントの開始時期について、委員宛に通知をお願いしたいです。

委 員：環境審議会と市民協議会が共にできることはあるのでしょうか。

事務局：環境審議会については、条例に基づき、計画の審議をしていただく組織です。一方で、策定した計画について推進していただくのがGX推進市民協議会と

いえるかと思えます。

**協議事項**

**(4) いせさきGX市民講座の開設及び市民サポーター制度の創設について**

**事務局から説明**

会 長：サポーターの事務局はGX推進課ということでよいでしょうか。

事務局：そのような想定しております。

会 長：GXについては、色々なテーマがあるかと思えますが、市内で活動する環境団体と連携していくということでよいでしょうか。

事務局：将来的にはそういう構想もあるかと思えますが、まずは、公募委員の方々にサポーターを担っていただくところから始まると思っております。

委 員：制度を運営していくにあたり、長期的な計画を立てて、小さなことから始めていくことが重要かと思えます。

委 員：私のイメージでは、市民サポーターは何かを話し合っ決めて、というものではなくて、各分野の専門家が出前講座などで学びの機会を提供する、というものです。

会 長：そのようなイメージで話し合いをしていましたね。

委 員：そこで何かを生み出すというよりも、すでにあるものを活用しましょう、というものです。

委 員：私も学童や福祉施設などで行う出前講座のイメージです。施設の方々とWin-Winの関係性を築ければいいなと思えます。

委 員：資料の準備など、必要な資材は市から借用できればいいなと思えます。

事務局：まだイメージの段階ですので、細かな部分は調整の必要があるかと思えます。どのようなものをお貸しできるか、という点につきましては、市としても対応したいと思えますが、予算にも限りがありますので、調整が必要かと思えます。

委 員：予算がなくてできない、ということはもったいないと思えますので、どうかよろしく願います。

事務局：講座の開設にあたっては、市の持ち得ている資材などで対応できるかと思います。特別な機材が必要というわけではないと考えております。

委員：事務局に丸投げではなく、ある程度、講座を自前でやっていけるように、制度を作っていかななくてはならないと思います。大学生など、地域の人を巻き込んでサポートをしてもらうのはよいと思うが、なるべくは、開く側が自己完結できるような形がよいと思う。

(5) いせさきGX推進市民協議会公募委員の改選について

(6) 令和8年度の展望について

事務局から説明

意見なし

### 3 その他 暑さ対策について

会長：今年、伊勢崎市が日本一暑いまちになってしまった。来年も暑くなると思う。委員にも皆さんへの宿題として、暑さ対策のアイデアを次回出してもらいたい。  
また、事務局の考えもあるかと思うので、補足してもらえればと思います。

事務局：暑さ対策については、本市のソフト面・ハード面の対策について取りまとめつつ、PRしていければと思います。

会長：6月頃の広報紙に掲載できればありがたい。

事務局：協議会としての考えを広報紙にそのまま掲載できるかについては、調整が必要かと思います。

委員：広報紙の他に、SNSを活用する方法が考えられます。例えば、クールシェアスポットにQRコードを掲示して、そこから暑さ対策の情報にアクセスできるような仕組みを作るのは面白いかもしれません。

### 4 閉会